

科目名	教員名
論述問題演習	福岡 英明

免許・課程

教職課程

資格課程

開講詳細

開講キャンパス	開講時期	曜日	時限	開講学年	単位数
渋谷	集中	スプリングセッション	スプリングセッション	カリキュラムにより異なる	2

講義概要

授業のテーマ

現代日本の社会問題によって学ぶ小論文・集団討論・面接

授業の内容

※本科目は PCAP・パブリックサービスキャリアコースに登録している3年生以上が履修可能です。

◇公務員試験では、教養試験・専門試験以外にも、論文試験・集団討議・個別面接などが実施され、そこでは主として政策論が問われます。本演習は、これまで馴染みが少ないであろう政策論を実践的に学ぶプログラムであり、国家公務員、地方公務員(上級)などになることを念頭におきつつ、我が国で生起する様々な社会問題の中からテーマを設定し、実際の公務員試験の過去問などを用いながら、論文問題演習・集団討議・個別プレゼン等の訓練を行ないます。テーマとしては、超高齢社会、地球環境、労働問題、地域の活性化などを予定しています。

到達目標

- ◇以下の点につき、論文としてまとめることと、口頭で相手に伝えることが出来るようになること。
- (1)現代日本の社会問題、特に公共的な政策的課題について、現状と問題点を説明できる。
 - (2)問題点に対して実現可能な解決策を提示できる。
 - (3)自らの考えを論理的かつ説得的に説明できる。
 - (4)時々刻々変化する社会の問題に問題意識を持ち続ける。

授業計画

◇本科目は、4人の教員が前期・後期に受け持つ7つの授業の中から選択し、履修することとなります。複数のクラスが開講されますので、具体的に取り上げる素材と授業の進め方は担当教員によって異なります。

以下では、全体に共通するおおよその授業計画を示します。

第1回～第3回:

初回の導入から始まり、公務員の仕事(公務員の種類・その仕事内容・試験科目等)の解説、公務員となるために準備すべきことなどについて解説した後、まずは、自己紹介文や希望する省庁・地方公共団体の志望理由を書く作業などを通じて、論文の書き方の基礎知識を学びます。

第4回～第14回:

◇超高齢社会の諸問題・地域の活性化・防災のあり方・労働問題などのテーマを取り上げ、集団討論形式によるディスカッション、公務員試験過去問などを用いた論文作成、面接形式のプレゼンテーションなどを実施していきます。こうした取り組みをとおして、論文作成のポイント、良い論文とは何か、なぜ悪い論文になってしまうのかなどを検討していきます。

第15回:まとめ(これまでの内容の復習)

授業計画の説明

◇上記のとおり、本科目は複数の授業の中から履修することとなります。7つのクラス（前期・集中 [福岡]、前期・火曜4限 [高内]、前期・火曜5限 [廣瀬]、後期・集中 [福岡]、後期・集中 [中曽根]、後期・火曜4限 [高内]、後期・火曜5限 [廣瀬]）が開講されますので、募集の際に配布する各クラスの案内(要項)をよく読んで応募してください。各クラスの案内(要項)については、大学HPの教育開発推進機構・共通教育センターページでお知らせします
(URL : <https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/iatl/cec>)

授業時間外の学習方法

◇事前・事後に配布するレジュメ・資料などをもとに予習・復習をしてください。レジュメ・資料はできるだけK-SMAPY IIに up します。論文の作成には事前の準備が大切であるということを体得することも本授業の目標のひとつです。

また、自分の足りない点があったら、関係する情報を図書館・インターネットなどで積極的に調べてください。授業内で書いた論文の書き直しを宿題とする場合もあります。

受講に関するアドバイス

◇本科目はPCAP科目であり、PCAPのパブリックサービスキャリア・コース登録者を対象者とするものであって、卒業後、公務員となることを志望している学生を想定しています。ただし、現時点で公務員志望が固まっている必要はなく、授業の内容が現代日本の社会問題を扱うものであることから、最終的に民間企業に就職する場合でも、本演習の内容は役立つものと思われます。

なお、とくに公務員試験との関係では、いろいろなタイプの論述や討論の訓練を受けてみるのが重要ですので、前期と後期とに別のクラスを選択することも検討してください。

成績評価の方法・基準

評価方法	割合	評価基準
平常点	100%	◇わが国の社会問題に関して論文としてまとめることができたか否か、また、口頭で自分の意見を相手に伝えることができたか否かで評価します。評価対象は、①授業内でまたは宿題として作成した小論文、②授業内で実施した課題レポート、③集団討論への参加状況、④授業内での発言状況です。

※すべての授業に出席することが原則であり、出席自体を加点の対象とすることはできません。

注意事項	
------	--

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

実務経験に関する記載	
------------	--

履修登録制限・備考	PCAP 選択者（パブリック）のみ履修可
-----------	----------------------

教科書・参考文献等

教科書

-

参考文献

書名	著者名	出版社	備考
地方上級・国家一般職[大卒]・市役所 上・中級 論文試験 頻出テーマのま とめ方	吉岡友治	実務教育出版	
公務員試験無敵の論文メソッド	鈴木鋭知	実務教育出版	
公務員試験 論文・面接で問われる行 政課題・政策論のポイント	高瀬淳一	実務教育出版	
公務員試験 現職人事が書いた「面接 試験・官庁訪問」の本	大賀英徳	実務教育出版	
論文試験の秘伝	山下純一	TAC 出版	
面接・官庁訪問の秘伝	山下純一	TAC 出版	
公務員試験受験ジャーナル		実務教育出版	
公務員試験学習スタートブック		実務教育出版	

参考文献コメント

参考になるウェブページ